

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
市民部(H29年度) 教育局(H30年度)	文化芸術課(H29年度) 生涯学習推進課(H30年度)	社会教育係(H29年度) 社会教育係(H30年度)

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	11	社会教育振興に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	10,954千円	12,419千円	12,445千円	0千円
	総人件費	476千円	448千円	2,864千円	
	総事業コスト	11,430千円	12,867千円	15,309千円	

事務事業名	01 社会教育振興事業				指標名	環境美化コンクール参加団体				指標種別	成果指標	指標の概要	大好きいばらき県民会議主催の花と緑の環境美化コンクール参加団体数					
	戦略プラン	- - - -				目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度	H32年度			
				実績	9団体	10団体	11団体	11団体	12団体	13団体	14団体							
				実績	8団体	9団体	10団体	16団体	-									
総合戦略	- - - -				H29年度				H30年度				その他の指標	-				
					改善目標	環境美化コンクールの周知方法を強化することより、参加団体の増加を図る。				改善目標	-							
市長公約	-				事業計画	6月 環境美化コンクール参加団体の募集 ウェルカムフラワーの参加団体を対象にした周知活動の実施				事業計画	6月 市内各幼小中学校へはイントラ課メール、一般にはつくば市HPを通じて周知したほか、ウェルカムフラワー参加団体には花苗と一緒に案内書を配布することにより、学校環境美化コンクールへの参加団体募集を行う。							
個別計画	-					7月 花壇審査。県民会議への推薦。 8月 第1回社会教育委員会議開催 3月 第2回社会教育委員会議開催					7月 花壇審査。大好き茨城県民会議への推薦 8月 第1回社会教育委員会議開催 3月 第2回社会教育委員会議開催							
根拠法令等	社会教育法 つくば市社会教育委員条例				活動実績	6月 環境美化コンクール募集の周知活動及び応募受付開始。16団体からの応募を受け。				上半期活動実績								
事業分類	A 任意的事業					7月 市審査の上、6団体を大好き茨城県民会議に推薦 8月 県民会議による1次審査実施(つくば市の推薦団体は落選) 第1回社会教育委員会議開催 3月 第2回社会教育委員会議開催												
執行体制	職員のみ				成果	ウエルカムフラワーの参加団体に対する周知活動の結果、応募団体が昨年度よりも6団体増加した。社会教育委員会議を年度内に2回開催し、文化芸術課、スポーツ振興課、中央図書館の社会教育に関する14事業について、実績等を報告することにより、委員から専門的立場からの意見を聴取することができた。				上半期成果								
事業の目的	社会教育委員会議の開催や社会教育主事の配置を通じて、つくば市における社会教育の振興を図るため。																	
事業の概要	社会教育委員の助言や指導を元に市の社会教育施策を実施し、環境美化コンクールの実施や社会教育主事の配置を通じて、市の社会教育行政の充実化を図る。 ※H29年度まで市民部文化芸術課において実施				課題					課題								
ISO 14001	H29 環境関連性	- - - -			事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-						
	H30 環境関連性	- - - -			有効性	中:適切な成果が得られている				有効性	-							
					効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-							
					総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-							
												H31年度当初積算根拠						
												H31年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	3,343千円	3,482千円	2,604千円	0千円
	総人件費	232千円	225千円	1,433千円	
	総事業コスト	3,575千円	3,707千円	4,037千円	

部等名	課等名	係等名
市民部(H29年度) 教育局(H30年度)	文化芸術課(H29年度) 生涯学習推進課(H30年度)	社会教育係(H29年度) 社会教育係(H30年度)

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	12	地域改善対策に要する経費

事務事業名	01 地域改善地区集会所維持管理事業	指標名	-				指標種別	-				指標の概要	-					
戦略プラン	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	-	-							-
	-	実績	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
総合戦略	-	改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-						
	-		-	-	-	-	-	-	-	-								
	-		-	-	-	-	-	-	-	-								
市長公約	-	事業計画	6～7月 高須賀地区集会所2階サッシュ窓修繕				4月1日 高須賀地区集会所維持管理業務委託締結				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初			
個別計画	-		法定点検の適切な実施。 年3回(5月, 9月, 1月)浄化槽点検 年2回(10月, 3月)消防設備点検				設備の法定点検の適切な実施 浄化槽点検年3回(5月, 9月, 1月)実施 消防用設備点検年2回(10月, 3月)実施 つくば市公共施設自主点検マニュアルの運用				事業費(A)	3,343千円	3,482千円	2,604千円	0千円			
根拠法令等	高須賀地区集会所条例		4月 施設の維持管理業務委託契約締結 5月 第1回浄化槽点検 6月 建物2階南面アルミサッシュ窓修繕 9月 消防用設備総合点検 12月 浄化槽水質検査 1月 第3回浄化槽点検 3月 縁・建具修繕 消防用設備機能点検 特殊建築物定期点検				上半期活動実績				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業分類	F 施設等維持管理事業	活動実績	施設の維持管理を業務を委託することにより実施したほか、設備の法定点検を実施することにより、施設を適切に管理を行った。また、老朽箇所について必要に応じた修繕を実施し、快適な利用環境を提供することができた。				上半期成果				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
執行体制	一部委託		課題				課題				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業の目的	地域改善対策集会所整備費補助金により整備された高須賀地区集会所の適正な維持管理を図り、地域の交流の場として提供するため。		課題				課題				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業の概要	集会所の維持管理、施設の貸出などを委託し、集会所を地域交流の場として適切に運用する。 ※ H29年度までは市民部文化芸術課において事業を実施	成果	事業の進捗状況				事業の進捗状況				一般財源	3,343千円	3,482千円	2,604千円	0千円			
ISO 14001	H29 環境関連性		達成				達成				人件費(B)	232千円	225千円	1,433千円				
	H30 環境関連性		改善目標の進捗状況				改善目標の進捗状況				正職員	従事割合	0.03人	0.03人	0.20人			
評価	有効性	中:適切な成果が得られている				有効性				時間外勤務	4.50時間	4.00時間	4.00時間					
	効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性				臨時職員等	無	無	無					
	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価				事業コスト(A+B)	3,575千円	3,707千円	4,037千円					
												H31年度当初積算根拠	-					
												H31年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	24,751千円	24,998千円	27,017千円	0千円
	総人件費	5,354千円	787千円	5,051千円	
	総事業コスト	30,105千円	25,785千円	32,068千円	

部等名	課等名	係等名
市民部(H29年度) 教育局(H30年度)	文化芸術課(H29年度) 生涯学習推進課(H30年度)	社会教育係(H29年度) 社会教育係(H30年度)

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	13	家庭教育支援に要する経費

事務事業名	01 家庭教育学級支援事業				指標名	家庭教育学級参加者数				指標種別	成果指標	指標の概要	家庭教育学級参加者数								
	戦略プラン	I	2	4	教育現場の支援体制整備	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度							H31年度	H32年度		
		-	-	-	-	実績	20,302人	21,940人	23,571人	20,243人	-										
総合戦略	-	-	-	-	改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-						
	-	-	-	-		改善目標	家庭教育学級の支援が的確に指導できるよう社会教育指導員の助言や指導を図り、改善を行う。				改善目標	様々な社会問題を的確に指導できるよう社会教育指導員の資質向上を図る。									
	-	-	-	-		改善目標	家庭教育学級の開設。学級の枠を超えた学習機会として講演会を年3回開催。				改善目標	家庭教育学級の開設。学級の枠を超えた学習機会として講演会を年3回開催(第1回6月28日、第2回9月30日、第3回12月1日)。社会教育指導員を生涯学習推進課に3人、各地域交流センターに13人を配置し、家庭教育の充実に努める。									
市長公約	-				事業計画	H29年度				H30年度				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初			
個別計画	つくば市生涯学習推進基本計画					事業計画				事業計画				事業費(A)	24,751千円	24,998千円	27,017千円	0千円			
根拠法令等	社会教育法 社会教育指導員設置規則					事業計画				事業計画				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業分類	A 任意的事業				活動実績	H29年度				H30年度				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
執行体制	職員のみ					活動実績				活動実績				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業の目的	家庭の教育力の向上を図り、子どもの健全な育成に役立てるため。社会教育の特定分野における直接指導、学習相談、又は社会教育団体の育成を通じて、社会教育を推進するため。					活動実績				活動実績				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業の概要	家庭教育学級を開催する。学級の運営にあたり社会教育指導員が指導・助言を行い、講演会や学習会を開催する。非常勤の嘱託員16人を文化芸術課及び交流センターに配属し、社会教育の特定分野についての直接指導、学習相談又は社会教育関係団体の育成等にあたる。				成果	H29年度				H30年度				一般財源	24,751千円	24,998千円	27,017千円	0千円			
	※ H29年度まで市民部文化芸術課において事業を実施					成果				成果				人件費(B)	5,354千円	787千円	5,051千円				
						課題				課題				正職員	従事割合	0.72人	0.10人	0.70人			
ISO 14001	H29環境関連性	-			評価	事業の進捗状況				事業の進捗状況				時間外勤務	29.50時間	30.00時間	30.00時間				
	H30環境関連性	-				事業の進捗状況				事業の進捗状況				臨時職員等	無	無	無				
						有効性				有効性				事業コスト(A+B)	30,105千円	25,785千円	32,068千円				
					達成				達成				H31年度当初積算根拠	-							
					改善目標の進捗状況				改善目標の進捗状況												
					達成				達成												
					中:適切な成果が得られている				有効性				H31年度の方向性								
					中:適切な費用対効果が得られている				効率性												
					B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価												
					理由				理由												

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	398千円	410千円	734千円	0千円
	総人件費	6,990千円	5,779千円	10,754千円	
	総事業コスト	7,388千円	6,189千円	11,488千円	

部等名	課等名	係等名
市民部(H29年度) 教育局(H30年度)	文化芸術課(H29年度) 生涯学習推進課(H30年度)	生涯学習推進係(H29年度) 生涯学習推進係(H30年度)

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	14	生涯学習推進に要する経費

事務事業名	01 生涯学習審議会開催事業				指標名	生涯学習審議会開催回数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	審議会の開催数				
	戦略プラン	- - - -				目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
				実績	4回	5回	4回	2回	3回	4回	4回									
総合戦略	- - - -				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-					
						地域交流センター講座実績報告書の作成見直しや、事業の進行管理調査票の改善をする。				生涯学習審議会の意見等をふまえて、事業の進捗や成果を測るためのシートの改善を図る。										
市長公約	-				事業計画					事業計画					事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初	
個別計画	-					生涯学習審議会 開催回数2回					進捗状況シートの改善をし、より効果的なものを作成し審議会に提示する。 生涯学習審議会 開催回数 3回				事業費(A)	272千円	278千円	600千円	0千円	
根拠法令等	つくば市生涯学習審議会条例														国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業分類	B 任意的事業(小規模)				活動実績					上半期活動実績					県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行体制	職員のみ					第1回 平成29年9月14日 委員13名出席 第2回 平成30年3月19日 委員16名出席					-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的	市民が自己を高めるため、生涯にわたり社会のあらゆる領域で自発的、自主的に学習活動が行えるようにするため。														その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要	生涯学習の振興に関する施策を総合的に進めるために調査審議する審議会を開催する。				成果	平成28年度より第2次生涯学習推進基本計画(5カ年)がスタートし、計画管理にあつたては、事業の進捗を評価する「事務事業評価」を習い作成し課題が抽出できた。				上半期成果	-				一般財源	272千円	278千円	600千円	0千円	
	※ H29年度まで市民部文化芸術課において事業を実施														人件費(B)	2,984千円	3,605千円	5,026千円		
															正職員	従事割合	0.40人	0.50人	0.70人	
ISO 14001	H29環境関連性	-			課題	進捗状況シートについて、タイトルの見直し、成果欄、特記事項欄を上手く活用できるよう改善する必要がある。				課題	-				時間外勤務	20.00時間	20.00時間	20.00時間		
	H30環境関連性	-													臨時職員等	無	無	無		
															事業コスト(A+B)	3,256千円	3,883千円	5,626千円		
					事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H31年度当初積算根拠				H31年度の方向性	-	理由	-
					有効性	中:適切な成果が得られている			有効性	-										
					効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-										
					総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-										

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	398千円	410千円	734千円	0千円
	総人件費	6,990千円	5,779千円	10,754千円	
	総事業コスト	7,388千円	6,189千円	11,488千円	

部等名	課等名	係等名
市民部(H29年度) 教育局(H30年度)	文化芸術課(H29年度) 生涯学習推進課(H30年度)	生涯学習推進係(H29年度) 生涯学習推進係(H30年度)

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	14	生涯学習推進に要する経費

事務事業名	02	つくば人間学講座				指標名	講座参加者数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	講座の参加者数				
	戦略プラン	-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	500人	300人		300人	300人	300人	300人	300人
		-	-	-	-	実績	832人	477人	315人	344人	-										
総合戦略	-	-	-	-	H29年度					H30年度					その他の指標	-					
	-	-	-	-	改善目標	市民ニーズを把握するため、アンケートを実施し、より内容や講師選定等の改善をする。					改善目標	-									
	-	-	-	-																	
市長公約	-				事業計画	開催回数4回予定 7月:健康 9月:芸術文化 12月:人権問題 2月:経済学					事業計画	つくば人間学講座実行委員会と市が協働して開催する。 年4回予定(7月、9月、11月、2月)									
個別計画	つくば市生涯学習推進基本計画					活動実績	健康に関する講座(6/24) 参加人数 135人 美術に関する講座(9/23) 参加人数 101人 いじめに関する講座(12/9) 参加人数 28人 芸術文化に関する講座(2/17) 参加人数 80人 受講者総数 344人					上半期活動実績	-								
根拠法令等	-						成果	企画立案や講師選定などに市民が主体的に取り組むことができた。					上半期成果	-							
事業分類	B 任意的事業(小規模)				課題	-					課題	-									
執行体制	職員のみ					事業の目的	事業を通じて文化創造の一助及び生涯学習の推進を図るため。					事業の概要	実行委員を設置し、講座の内容・講師選定など企画全般を行い、行政は会場の準備や広報などを行う。 ※ H29年度まで市民部文化芸術課において事業を実施								
ISO 14001	H29環境関連性	-			事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-		改善目標の進捗状況	-	H31年度当初積算根拠	-					
	H30環境関連性	-			評価		有効性	中:適切な成果が得られている		評価	有効性		-			H31年度の方向性	-	理由	-		
					評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている		評価	効率性	-										
					評価	総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施		評価	総合評価	-										

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要 す る 経 費 全 体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	398千円	410千円	734千円	0千円
	総人件費	6,990千円	5,779千円	10,754千円	
	総事業コスト	7,388千円	6,189千円	11,488千円	

部等名	課等名	係等名
市民部(H29年度) 教育局(H30年度)	文化芸術課(H29年度) 生涯学習推進課(H30年度)	生涯学習推進係(H29年度) 生涯学習推進係(H30年度)

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	14	生涯学習推進に要する経費

事務事業名	03 出前講座事業				指標名	出前講座参加者数				指標種別	成果指標		指標の概要	出前講座の参加者数						
	戦略プラン	-				目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度							H32年度	
		-				実績	1,000人	2500人	2500人	2500人	2500人	2500人							2500人	
-				実績	2175人	2713人	3898人	4,106人	-											
総合戦略	-				H29年度				H30年度				その他の指標	-						
	-				改善目標	市民ニーズを把握するためのアンケートを実施し、メニューの充実を図る。				改善目標	-									
	-																			
市長公約	-				事業計画	・チラシ及び出前講座のメニュー一覧を作成し、周知を図る。 ・メニュー内容の充実を図るため、全庁的に取り組む。				事業計画	ホームページやチラシ等で、市民に周知をする。また、出前講座の内容については、時世にあったテーマを設定しながら、全庁的に取り組んでいく。									
個別計画	-																			
根拠法令等	-																			
事業分類	B 任意的事業(小規模)				活動実績	認知症サポーター養成講座 19件 637人受講 家庭ではじめる防災対策 11件 338人受講 消費者トラブル対処法講座～高齢者編～8件 204人				上半期活動実績	-									
執行体制	職員のみ																			
事業の目的	市民が主催する学習会等に市の職員等が講師として出向き、市政に関する講座を行うことにより、生涯学習の推進を図ると共に、市民の市政に関する理解を深め、もってまちづくりへの参加の促進に寄与するため。																			
事業の概要	市民の学習会や集会等に市職員が講師として出向き、市の業務や施策について説明するなどして、市政に関する講座等を行う。 ※ H29年度まで市民部文化芸術課において事業を実施				成果	企画立案や講師選定などに市民が主体的に取り組むことができた。				上半期成果	-									
															課題	-				
ISO 14001	H29 環境関連性	-			事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H31年度当初積算根拠	-						
	H30 環境関連性	-			評価	有効性	中：適切な成果が得られている		評価	有効性	-									
		-				効率性	中：適切な費用対効果が得られている			効率性	-									
				総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-				H31年度の方向性	-	理由	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	398千円	410千円	734千円	0千円
	総人件費	6,990千円	5,779千円	10,754千円	
	総事業コスト	7,388千円	6,189千円	11,488千円	

部等名	課等名	係等名
市民部(H29年度) 教育局(H30年度)	文化芸術課(H29年度) 生涯学習推進課(H30年度)	生涯学習推進係(H29年度) 生涯学習推進係(H30年度)

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	14	生涯学習推進に要する経費

事務事業名	04 生涯学習指導者情報提供事業				指標名	情報提供数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	登録指導者の情報提供数				
	戦略プラン	- - - -				目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
		- - - -				実績	50件	60件	60件	60件	60件	60件	60件							
総合戦略	- - - -				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-					
	- - - -					登録した指導者の整理を行い、主催事業で積極的に活用していく。				-										
	- - - -																			
市長公約	-				事業計画									事業実施コスト						
個別計画	つくば市生涯学習推進基本計画					<ul style="list-style-type: none"> 市の講座、家庭教育学級の講座等で活用できるよう生涯学習指導者の情報を提供する。 指導者情報をホームページに掲載する。 チラシの作成配布 市民の問い合わせに応じて、講師の紹介をする。 				<ul style="list-style-type: none"> 市の講座、家庭教育学級の講座等で活用できるよう生涯学習指導者の情報を整理する。 指導者情報をホームページに掲載する。 チラシの作成配布 市民の問い合わせに応じて、講師の紹介をする。 					事業費(A)					
根拠法令等	-															内訳				
事業分類	B 任意的事業(小規模)												国庫支出金							
執行体制	職員のみ												県支出金							
事業の目的	市民の生涯学習意欲を満たすため。また地域全体が持つ能力を活かした学習機会の充実を図るため。				活動実績	情報提供数 72件(うち17件開催) 登録者総数 232名(うち新規36名) 継続の意思確認をし、講師情報を更新した。 最新情報のチラシを作成した。				上半期活動実績	-				地方債					
															その他特財					
															一般財源					
事業の概要	生涯学習指導者情報の登録を行い、市民の要望に応じた生涯学習指導者情報の提供をする。				成果	市民の学びたい・教えたいという意欲に応えることが出来た。				上半期成果	-				人件費(B)					
	※ H29年度まで市民部文化芸術課において事業を実施														正職員					
															従事割合					
ISO 14001	H29 環境関連性				課題	-				課題	-				時間外勤務					
	-														臨時職員等					
	H30 環境関連性														事業コスト(A+B)					
					事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H31年度当初積算根拠							
					評価	有効性 中:適切な成果が得られている				評価	有効性 -				H31年度の方向性	-				
						効率性 中:適切な費用対効果が得られている					効率性 -					理由 -				
						総合評価 B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施					総合評価 -									

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	25,859千円	25,186千円	27,957千円	0千円
	総人件費	1,494千円	1,492千円	5,045千円	
	総事業コスト	27,353千円	26,678千円	33,002千円	

部等名	課等名	係等名
市民部(H29年度) 教育局(H30年度)	文化芸術課(H29年度) 生涯学習推進課(H30年度)	社会教育係(H29年度) 社会教育係(H30年度)

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	15	生涯学習施設管理に要する経費

事務事業名	01 市民研修センター指定管理者事業				指標名	施設利用人数				指標種別	成果指標				指標の概要	つくば市市民研修センター利用者数					
	戦略プラン	- - - -				目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度								
						実績	35,000人	35,000人	35,000人	35,000人	35,000人	35,000人	35,000人								
総合戦略	- - - -				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-						
						周知活動を強化し新たな利用者を獲得するとともに、施設修繕を計画的に実施する。				指定管理者の自主事業や周知活動の強化による、新たな利用者の獲得。老朽箇所の現地確認を行い、予算の範囲内で優先されるものから修繕を行う。											
市長公約	-				事業計画	協定期間の終了に伴う、今後5年間の指定管理者の募集・選定・協定作業を行う。様々な催事の実施 4月 春のさくらまつり 8月 夏休み子どもイベント 10月 利用者合同発表会 その他、通年で各種講座を実施				4月 年度協定書締結 協定書・仕様書に基づき、直営又は委託により、指定管理者に、年間を通じての施設の運営及び適切な管理を行わせる。また、事業計画書に基づいた、講座の開設や貸館業務、催事を行わせる。 協定書・仕様書に基づく市が行うべき修繕や、法定点検等を行い、快適な利用環境を提供する。 つくば市公共施設自主点検マニュアルの運用				事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初			
個別計画	-													事業費(A)	21,322千円	21,062千円	22,106千円	0千円			
根拠法令等	つくば市市民研修センター条例													国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業分類	F 施設等維持管理事業				活動実績	協定書・仕様書に基づき、管理者による年間を通じての施設運営及び適切な管理がなされている。また、事業計画書に基づいた、講座の開設や貸館、催事を実施した。本年度が従前の協定の最終年度になるため、新年度からの指定管理者の選定し、基本協定書(期間:5年)の締結した。				上半期活動実績				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
執行体制	指定管理者													地方債	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業の目的	市民及び市内の企業に勤務する者に生涯学習の機会を提供し、もって教育の振興及び文化の向上に寄与するため。													その他特財	11千円	11千円	0千円	0千円			
事業の概要	利用者が快適に施設を利用できるよう、施設の運営を指定管理者に委託し、適切な維持管理、施設の特徴を生かした自主事業の実施など、民間活力を用いた施設運営を行う。				成果	施設利用者からの意見においても、好評を得ている。また、選定結果により、従前と同じ法人が指定管理者となったため、施設の設置目的や特徴を熟知しており、また、職員等にも変更がないことから、年度当初からこれまでと同様の施設運営と利用者サービスを行うことができる。				上半期成果				一般財源	21,311千円	21,051千円	22,106千円	0千円			
	※ H29年度まで市民部文化芸術課において事業を実施													人件費(B)	1,185千円	1,194千円	3,610千円				
														正職員	従事割合	0.16人	0.16人	0.50人			
ISO 14001	H29 環境関連性	-				課題	利用者の減少や高齢化が進行しているため、引き続き、青少年や中壮年層を引き込む企画の立案や周知活動の強化が必要。また、築18年を経過し、施設・設備に老朽化が進行しており、修繕箇所が増加してきている。				課題				時間外勤務	4.50時間	22.00時間	22.00時間			
	H30 環境関連性	-													臨時職員等	無	無	無			
													事業コスト(A+B)	22,507千円	22,256千円	25,716千円					
					事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H31年度当初積算根拠								
					有効性	中:適切な成果が得られている			有効性	-											
					効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-											
					総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-			H31年度の方向性	-	理由	-					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

部等名	課等名	係等名
市民部(H29年度) 教育局(H30年度)	文化芸術課(H29年度) 生涯学習推進課(H30年度)	社会教育係(H29年度) 社会教育係(H30年度)

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	15	生涯学習施設管理に要する経費

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	25,859千円	25,186千円	27,957千円	0千円
	総人件費	1,494千円	1,492千円	5,045千円	
	総事業コスト	27,353千円	26,678千円	33,002千円	

事務事業名	02 さくら民家園施設管理事業				指標名	来園者数				指標種別	成果指標	指標の概要	さくら民家園来園者数	
	戦略プラン				目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度
	-					7,000人	7,000人	7,000人	7,000人	7,000人	7,000人	7,000人		
	-				実績	7,394人	7,047人	6,847人	7,000人見込み	-				
総合戦略	-				H29年度				H30年度				その他の指標	-
	-				改善目標	中長期財政推計に盛り込んだ屋根修繕の実施計画を検討する。季節のイベントなどの情報を市HPやFacebook等で紹介することで、親しみやすく利用しやすい施設であることを周知する。				改善目標	中長期財政推計掲載の屋根修繕について、実施を具体化する。所管課の生涯学習推進課や関係各課の事業での活用を促進し、利用者増を図る。施設案内について、市の多様な情報メディアを活用して発信し、親しみやすかつ利用しやすい施設であることを周知する。			
市長公約	-				事業計画	通年での貸館及び見学受入れ 4～5月 大学のゼミ実習 11月 文化祭会場 1～2月 小学校社会科見学 その他、お茶会・お話しなどの文化活動の場の提供 屋根の修繕の実施計画の検討や老朽箇所の修繕。				事業計画	4月 警備業務(機械警備)委託契約 以降も、適切な時期に施設の維持管理に必要な業務について、委託により実施し、施設を適切に管理することにより、利用者に快適な利用環境を提供する。 通常の一般開放のほか、伝統文化の継承事業、社会教育関連事業等を目的とする利用申し込みに対し、貸館業務を行う。 つくば市公共施設自主点検マニュアルの運用			
個別計画	-					活動実績	3月 施設維持管理業務委託契約締結 4月 警備業務(機械警備)委託契約 7月 植栽維持管理業務委託契約・植木剪定契約 締結、消防設備機能点検 9月 母屋北側軒部分の差し茅修繕 1月 消防用設備(特殊消防用設備等)点検 2月～3月 ひな人形展示 通常は一般開放、見学自由とした。4・5・6月に大学生・大学院院生の演習、11月に市民文化祭、1・2・3月にの社会科見学等を受け入れた。また、貸館として、童話の読み聞かせ、藍染め展、国際交流事業等に利用され				上半期活動実績	-		
根拠法令等	中央公園さくら民家園管理規則				成果		建物内部まで一般開放、見学自由とすることで、来園者につくば地方の伝統的な農家住宅の佇まいや構造を学ぶ機会を提供することができた。業務委託等により、清掃や植栽管理、法定点検等を行うことにより、施設の適切な管理ができた。また、母屋の屋根について、部分的な差し茅ではあるものの、破損の進行した箇所の修繕を実施し、雨水の浸透による屋根材の腐朽の進行を遅らせることができた。					上半期成果	-	
事業分類	F 施設等維持管理事業					課題	利用者の減少が続いているため、今後も利用促進のための周知活動が必要。また、行う事業として、管理規則第2条第1号に、民俗または風習に関する行事とあるが、市の主体的な取り組みがない状況である。母屋の屋根については、破損したぐしを幌で被覆しているほか、全体に茅材の損耗が進行しており、葺き替えの時期を迎えている				課題		-	
執行体制	一部委託				事業の進捗状況		達成	達成	改善目標の進捗状況	達成		事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況
事業の目的	さくら民家園の適正な維持管理を図ることにより、郷土に対する理解を深める環境・憩いの環境を提供し、伝統文化の継承に寄与するため。					評価	有効性	中:適切な成果が得られている			評価		有効性	-
	事業の概要	日常的な清掃管理及び来場者への対応等の委託と団体利用者・催事等への貸出し、ひな人形の展示等を行う。 ※ H29年度まで市民部文化芸術課において事業を実施					効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-	
ISO 14001		H29環境関連性	-			総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-			
	H30環境関連性	-												
事業実施コスト		H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初									
事業費(A)		4,537千円	4,124千円	5,851千円	0千円									
国庫支出金		0千円	0千円	0千円	0千円									
県支出金		0千円	0千円	0千円	0千円									
地方債		40千円	0千円	0千円	0千円									
その他特財		0千円	0千円	0千円	0千円									
一般財源		4,497千円	4,124千円	5,851千円	0千円									
人件費(B)		309千円	298千円	1,435千円										
正職員	従事割合	0.04人	0.04人	0.20人										
	時間外勤務	5.50時間	5.00時間	5.00時間										
臨時職員等		無	無	無										
事業コスト(A+B)		4,846千円	4,422千円	7,286千円										
H31年度当初積算根拠		-												
H31年度の方向性		-	理由	-										

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	9,719千円	13,430千円	13,841千円	0千円
	総人件費	10,487千円	15,472千円	14,711千円	
	総事業コスト	20,206千円	28,902千円	28,552千円	

部等名	課等名	係等名
市民部(H29年度) 教育局(H30年度)	文化芸術課(H29年度) 生涯学習推進課(H30年度)	生涯学習推進係(H29年度) 青少年教育係(H30年度)

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	17	青少年健全育成に要する経費

事務事業名	01 青少年健全育成事業				指標名	あいさつ・声かけ運動実施数				指標種別	成果指標				指標の概要	市内各小中高校においてあいさつ・声かけ運動を実施した。		
					目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度						
戦略プラン	-				実績	120回	120回	120回	120回	-					その他の指標	・青少年の健全育成に協力する店舗数(累計) H25年度目標値:355件,実績値:397件 H26年度目標値:360件,実績値:407件 H27年度目標値:450件,実績値:406件 H28年度目標値:450件,実績値:404件		
					H29年度				H30年度									
総合戦略	-				改善目標	市子連や市P連との連携をとり、青少年相談員の活動について理解していただき、参加加入に取り組む。				改善目標	-							
市長公約	-				事業計画	・あいさつ・声かけ運動 ・3月 図書等自動販売機の立入調査 ・6月～7月 学校訪問 ・まつりつくばでの啓発活動 ・地区巡回パトロール ・7月～12月「青少年の健全育成に協力する店」登録活動				事業計画	・あいさつ・声かけ運動 ・3月 図書等自動販売機の立入調査 ・6月～7月 学校訪問 ・地区巡回パトロール ・7月～12月「青少年の健全育成に協力する店」登録活動							
個別計画	-																	
根拠法令等	-				活動実績	あいさつ・声かけ運動 図書等自動販売機の立入調査(1カ所3台) 学校訪問(36校) 地区巡回パトロール 「青少年の健全育成に協力する店」訪問活動(61店舗)				上半期活動実績	-							
事業分類	A 任意的事业																	
執行体制	職員のみ				成果	あいさつ・声かけ運動を実施することにより、あいさつをする児童が増えていている。 累計で、登録店舗数は409店舗となり、昨年度より上回った。うち新規の登録は8店舗あり青少年健全育成に意識を高めることができた。				上半期成果	-							
事業の目的	未来のつくば市を担う青少年が、健やかにたくましく成長できるようにするため。																	
事業の概要	青少年相談員が中心となり、学校や青少年育成団体等と連携し、青少年の非行防止や青少年育成の各種事業を展開する。 ※ H29年度まで市民部文化芸術課において事業を実施				課題	-				課題	-							
ISO 14001	H29 環境関連性	-				事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-					
	H30 環境関連性	-				有効性	中:適切な成果が得られている				有効性	-						
				評価	効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-							
				総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-				H31年度の方向性	-	理由	-	

事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
事業費(A)	4,220千円	4,428千円	5,159千円	0千円
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	53千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財	0千円	30千円	0千円	0千円
一般財源	4,167千円	4,398千円	5,159千円	0千円
人件費(B)	3,383千円	3,580千円	3,580千円	
正職員	従事割合	0.42人	0.50人	0.50人
内訳	時間外勤務	115.45時間	10.00時間	10.00時間
	臨時職員等	有	有	無
	事業コスト(A+B)	7,603千円	8,008千円	8,739千円

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	9,719千円	13,430千円	13,841千円	0千円
	総人件費	10,487千円	15,472千円	14,711千円	
	総事業コスト	20,206千円	28,902千円	28,552千円	

部等名	課等名	係等名
市民部(H29年度) 教育局(H30年度)	文化芸術課(H29年度) 生涯学習推進課(H30年度)	生涯学習推進係(H29年度) 青少年教育係(H30年度)

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	17	青少年健全育成に要する経費

事務事業名	02 青少年を育てるつくば市民の会補助				指標名	「家庭の日」図画・ポスターコンクール来場者数				指標種別	成果指標	指標の概要	「家庭の日」図画・ポスターコンクール来場者数	
	戦略プラン	-				目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度			H31年度
				実績	450人	400人	400人	400人	400人	400人	400人			
				H29年度				H30年度				その他の指標	・あいさつ・声かけ運動実施回数 H25年度目標値:110回,実績値:100回 H26年度目標値:120回,実績値:100回 H27年度目標値:120回,実績値:100回 H28年度目標値:120回,実績値:100回	
総合戦略				改善目標	つくば市子ども会育成連合会や、つくば市PTA連絡協議会等の事業に協力する中で、両会の会員を取り込んでいく。				改善目標	つくば市子ども会育成連合会や、つくば市PTA連絡協議会等の事業に協力する中で、両会の会員を取り込んでいく。				
市長公約	-				事業計画	・「家庭の日」図画・ポスターコンクール事業:中央公園市民ギャラリー 11月中旬 ・「子どもを守る110番の家」推進事業 ・あいさつ・声かけ運動推進事業 ・支部事業(親子交流事業・講演会)				事業計画	6月13日青少年を育てるつくば市民の会総会 7月 あいさつ運動(つくば駅)予定 11月 「家庭の日」図画・ポスターコンクール展示会(中央公園市民ギャラリー) 11月 あいさつ運動(つくば駅)予定 ・「子どもを守る110番の家」推進事業 ・あいさつ・声かけ運動推進事業 ・支部事業(親子交流事業・講演会)			
個別計画	つくば市生涯学習推進基本計画					活動実績	・「家庭の日」図画・ポスターコンクール事業(来場者数300人) 中央公園市民ギャラリー ・「子どもを守る110番の家」推進事業 ・あいさつ・声かけ運動推進事業 ・支部事業(親子交流事業・講演会)				上半期活動実績			
根拠法令等	青少年を育てるつくば市民の会補助金交付要綱				成果		青少年育成関係諸団体や地域・学校と協力しながら事業を展開することにより、地域社会で青少年を健全に育成するという機運を高めることができた。					上半期成果		
事業分類	E 補助金・負担金事業					課題	役員の後継者不足				課題			
執行体制	補助金(直接)				事業の進捗状況		達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況		-	改善目標の進捗状況	-
事業の目的	市民総ぐるみ運動による青少年育成団体を支援し、青少年健全育成の推進を図るため。				事業の概要	青少年の健全育成事業を展開する団体に対し補助金を交付する。 ※ H29年度まで市民部文化芸術課において事業を実施				事業コスト(A+B)	3,655千円 5,721千円 5,696千円			
ISO 14001	H29環境関連性	-		-		-		-			H31年度当初積算根拠	-		
		H30環境関連性	-		-		-		-			H31年度の方向性	-	理由
		評価	有効性	中:適切な成果が得られている				有効性	-					
			効率性	中:適切な費用対効果が得られている				効率性	-					
			総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-					

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	9,719千円	13,430千円	13,841千円	0千円
	総人件費	10,487千円	15,472千円	14,711千円	
	総事業コスト	20,206千円	28,902千円	28,552千円	

部等名	課等名	係等名
市民部(H29年度) 教育局(H30年度)	文化芸術課(H29年度) 生涯学習推進課(H30年度)	生涯学習推進係(H29年度) 青少年教育係(H30年度)

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	17	青少年健全育成に要する経費

事務事業名	03 つくば市子ども会育成連合会補助				指標名	会員数				指標種別	成果指標				指標の概要	つくば市子ども会育成連合会へ加入している会員数						
	戦略プラン	-				目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	実績		2,179人	1,663人	1,758人	1687人	-		
		-					2,300人	2,300人	2,300人	2,300人	2,300人	2,300人	2,300人			2,300人						
総合戦略	-				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-							
	-					各支部が減少している状況のため、加入促進のPR、連合会の事業が有意義で魅力あるものになるよう協力をしていく。				各支部が減少している状況のため、加入促進のPTA連合会の事業が有意義で魅力あるものになるよう協力をしていく。												
	-					-				-												
市長公約	-				事業計画	-				-				事業実施コスト	-							
個別計画	つくば市生涯学習推進基本計画					本部事業 7月 花壇推進活動 8月～11月 登山予定 1月～2月 冬研修事業(そば打ち体験) 各地区事業(桜・大穂・豊里支部)ノリダ-育成野外活動、登山、そば打ち体験				4月 つくば市子ども会育成連合会事業費補助金交付申請受付 5月～6月 つくば市子ども会育成連合会事業費補助金交付決定通知書送付 6月 総会 2月16日 第4回スポーツ鬼ごっこ大会 2月～3月 ・つくば市子ども会育成連合会事業費補助事業実績報告書 ・つくば市子ども会育成連合会事業費補助金交付額確					事業費(A)	902千円	899千円	1,240千円	0千円			
	根拠法令等	つくば市子ども会育成連合会補助金交付要綱				-				-					国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
事業分類		E 補助金・負担金事業				活動実績	-				-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円			
執行体制	補助金(直接)				-				-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円					
事業の目的	子ども会育成者への連絡調整を図り、団体が行う子どもたちの健全育成活動を支援するため。				本部事業ノスポーツ鬼ごっこ大会、花壇推進活動 各地区事業(3支部)ノリダ-育成野外活動、登山、そば打ち体験				-				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円					
	事業の概要	子どもたちの健全育成事業を展開する団体に対し補助金を交付する。 ※ H29年度まで市民部文化芸術課において事業を実施				異年齢の集団による仲間づくり活動や地域の育成者や保護者と共に行う活動を通して、地域コミュニティ構築の一翼を担えた。				-				一般財源	902千円	899千円	1,240千円	0千円				
ISO 14001		H29 環境関連性	-			課題	-				-				人件費(B)	1,187千円	3,567千円	724千円				
	H30 環境関連性	-			支部が減少するなど、退会する単位子ども会が増加しており、加入の魅力が高めることが課題となっている。				-				正職員	従事割合	0.16人	0.50人	0.10人					
評価	有効性	中:適切な成果が得られている				事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況		達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況		-	臨時職員等	無	無	無			
		効率性	中:適切な費用対効果が得られている				-					-					事業コスト(A+B)	2,089千円	4,466千円	1,964千円		
		総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				-					-					H31年度当初積算根拠	-				
															H31年度の方向性	-	理由	-				

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	9,719千円	13,430千円	13,841千円	0千円
	総人件費	10,487千円	15,472千円	14,711千円	
	総事業コスト	20,206千円	28,902千円	28,552千円	

部等名	課等名	係等名
市民部(H29年度) 教育局(H30年度)	文化芸術課(H29年度) 生涯学習推進課(H30年度)	生涯学習推進係(H29年度) 青少年教育係(H30年度)

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	17	青少年健全育成に要する経費

事務事業名	04 成人式開催事業				指標名	参加者数				指標種別	成果指標				指標の概要	成人の集い参加者数				
	戦略プラン	-	-	-	-	目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度							
		-	-	-	-	実績	1,500人	1,500人	1,500人	1,500人	1,500人	1,500人	1,500人							
	-	-	-	-		1,630人	1,538人	1,624人	1727人	-										
総合戦略	-				改善目標	H29年度				H30年度				その他の指標	-					
	-					教職員の協力や警備員の増員、青少年相談員の協力により警備体制を強化したが、更なる警備強化が必要である。				-										
	-																			
市長公約	No.29				事業計画									事業実施コスト						
個別計画	-					実行委員会開催(6回予定) 平成30年1月7日(日)つくばカピオで開催予定 内容(第1部 式典/第2部 ステージイベント等)				平成31年1月13日(日)つくばカピオ開催予定 対象者:平成10年4月2日～平成11年4月1日生まれの方 実行委員会を開催(5回予定) 警備体制強化、運営・実施体制の強化、警察の協力、職員応援を依頼予定					H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初		
根拠法令等	-														事業費(A)	1,249千円	5,270千円	4,336千円	0千円	
事業分類	A 任意的事业				活動実績									国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
執行体制	職員のみ					・実行委員会会議 5回実施 メンバー46人 ・平成30年1月7日(日)つくばカピオ会場にて、平成9年4月2日～平成10年4月1日生まれの方1,727人参加 ・式典11時開始(30前に各中学校ごとに集めた思い出VTRを放映)し、約40分の式典実施。 ・アトラクションとして、筑波大学津軽三味線倶楽部無絃塾披露 ・終了後に、記念撮影(茨城県写真協会つくば支部主催)				上半期活動実績				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の目的	新たに20歳を迎える市内の若者が一同に会し、大人への門出を祝うことで、社会の一員としての自覚と責任を養うため。													地方債	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業の概要	・新成人による実行委員会を立ち上げ、自らが成人の集いを企画し、当日の運営に参画する。 ・広報紙、ホームページへの掲載、対象者への案内通知などの広報活動を行う。 ※ H29年度まで市民部文化芸術課において事業を実施				成果	参加者数1,727人(男876人・女851人) 参加率 62.3% 社会の一員としての自覚と責任感を醸成する機会となった。				上半期成果				その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円		
														一般財源	1,249千円	5,270千円	4,336千円	0千円		
														人件費(B)	2,086千円	3,807千円	5,228千円			
					課題									内訳	正職員	従事割合	0.26人	0.50人	0.70人	
															時間外勤務	68.00時間	100.00時間	100.00時間		
															臨時職員等	有	有	無		
					評価									事業コスト(A+B)	3,335千円	9,077千円	9,564千円			
														H31年度当初積算根拠						
ISO 14001	H29 環境関連性	-			事業の進捗状況	達成	改善目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	改善目標の進捗状況	-	H31年度の方向性		-	理由	-			
	H30 環境関連性	-			有効性	中:適切な成果が得られている			有効性	-										
					効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-										
					総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-										

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H29年度～H30年度】

要する経費全体	事業実施コスト	H28年度決算	H29年度決算	H30年度当初	H31年度当初
	総事業費	9,719千円	13,430千円	13,841千円	0千円
	総人件費	10,487千円	15,472千円	14,711千円	
	総事業コスト	20,206千円	28,902千円	28,552千円	

部等名	課等名	係等名
市民部(H29年度) 教育局(H30年度)	文化芸術課(H29年度) 生涯学習推進課(H30年度)	生涯学習推進係(H29年度) 青少年教育係(H30年度)

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	10	05	01	17	青少年健全育成に要する経費

事務事業名	05	つくばサイエンスラボ事業	指標名	参加者数				指標種別	成果指標	指標の概要	つくばサイエンスラボ参加者数			
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度		
戦略プラン	-	-	-	-	160人	160人	160人	160人	160人	160人				
	-	-	-	-	実績	151人	139人	177人	142人	-				
総合戦略	-	-	-	-	H29年度				H30年度					
	-	-	-	-	改善目標	限られたコース内での改善, 応募者の対応を検討する。				改善目標	申込者が参加できるようにコース内容の工夫を行う。			
	-	-	-	-	その他の指標	-								
市長公約	-	-	-	-	事業計画	6月 コース計画, チラシ作成 7月下旬～8月上旬 実施 内容 実験教室, 施設見学, 自然体験など				事業計画	日時等: 夏休みの期間7月下旬～8月上旬にコース設定予定 内容: 科学実験教室, 自然体験など			
個別計画	-	-	-	-		活動実績					Aコース・7月25日(火)38人 Bコース・7月29日(土)30人 Cコース・8月2日(水)33人 Dコース・8月4日(金)41人 全4コース, 参加者数142人			
根拠法令等	-	-	-	-	成果	市内外の小学生に, つくば市の地域資源を活用した実験教室等や最先端の科学, 豊富な自然環境を体感してもらった結果, 科学や自然への興味や関心を高めてもらうことが出来た。また, 夏の楽しいひとときを過ごしてもらったことが出来た。				課題	多くの参加者を受けられるよう事業の内容を見直すことが必要。			
事業分類	A 任意的事業					事業の概要	市内外の子どもたちを対象に, つくば市の地域資源である科学や自然を活かした体験活動等を通して, つくば市の特徴である豊かな自然と最新の科学技術への興味・関心を向上させるため。				課題	多くの参加者を受けられるよう事業の内容を見直すことが必要。		
執行体制	職員のみ				ISO 14001		H29 環境関連性					H31年度当初積算根拠	H31年度当初積算根拠	
事業の目的	事業の目的					事業の概要	事業の進捗状況				事業の進捗状況			
	事業の目的				達成				達成					
	事業の目的				改善目標の進捗状況				改善目標の進捗状況					
事業の概要	事業の目的				事業の概要	有効性				有効性				
	事業の目的					中: 適切な成果が得られている				中: 適切な費用対効果が得られている				
	事業の目的					効率性				効率性				
ISO 14001	H30 環境関連性				事業の概要	総合評価				総合評価				
	H30 環境関連性					B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				B: 成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				
	H30 環境関連性					理由				理由				